

おすすめの図書

文春新書 (2017/2発売) 文庫版/208p

山中伸弥 羽生善治 是枝裕和 山極壽一 永田和宏【著】

文庫版770円(税込) Kindle版763円(税込)

『僕たちが何者でもなかった頃の話をしてよう』



(出典：文藝春秋より)

ジュニア会員の皆さんは、将来、どんな人生を歩みたいと思っていますか？ そのために、何か行動を起こしていますか？

職業柄、大学生と話す機会がたくさんありますが、最近は、真面目な学生が多く、言われたことをきちんとこなすことは得意な一方、新しいことに挑戦するのが苦手な学生が増えてきたように思います。現在は、情報があふれ、インターネット上で様々な情報を入手することができます。リスクが想像できるほど情報が入手できてしまうので、躊躇してしまうのかもしれません。しかし、これからの時代は、答えのない課題に向き合うことばかりで、言い換えれば、未知への挑戦の連続です。これまでは、尻込みしている学生に出会ったときは、若さを武器に、失敗を恐れず、前に進むことの大切さを、お茶を飲みながら、お酒を飲みながら話したのですが、昨年、新型コロナウイルス感染症が拡大し、大学生活も制限されている状況にあります。

そこで、おすすめしたいのが、文藝春秋から出版されている「僕たちが何者でもなかった頃の話をしてよう」です。この本は、京都産業大学の創立50周年を記念して行われた「マイ・チャレンジ」という企画の中で行われた各界のスーパーリーダーである山中伸弥氏、羽生善治氏、是枝裕和氏、山極壽一氏らの講演と京都産業大学総合生命科学部の教授であり、宮中歌会始詠進歌選者を務める等、歌人としても活躍されている永田和宏氏との対談が収録されています。「マイ・チャレンジ」の企画の意図は、彼らがいかに偉大であるかということではなく、あんな偉い人でも、自分と同じじゃないかと感じ取ってほしいということでした。対談では、スーパーリーダーたちが若い頃、もがき苦しんでいた話を引き出してくれています。どの講演も、どの対談もとても面白く、あっという間に読めてしまいます。スーパーリーダーの活躍する分野は様々ですが、どの方も、失敗から大切なことを学んだ経験があり、学生たちにも、失敗を恐れず、興味あることに打ち込んでほしい・夢中になってほしいとメッセージをおくっています。そして、案外、各界の偉人たちの転機は、「エイヤっ」と、直観で進んだことがきっかけになっていたように思います。

調べ尽くして決めた方がよいときもあると思いますが、この本を読んで、勇気をもらい、時には、「エイヤっ」と、直観で前に進んでみてください。きっと、想像以上の面白い世界が待っていると思います。

(日本女子大学 小川賀代)